

AY 2027
Entrance Examination Guideline
for the Application Guide
for Doctoral Program of International Health

2027 年度博士後期課程学生募集要項
入学試験案内
(国際保健学専攻)

東京大学大学院医学系研究科
Graduate School of Medicine
The University of Tokyo

国際保健学専攻 (International Health)

令和9 (2027) 年度

東京大学大学院医学系研究科 [博士後期課程] 指導教員一覧

○専攻分野と指導教員

- (1) 志願者は、志望する専攻の教員 (教授又は准教授) を指導教員とします。
- (2) 志願者は、出願書類を提出する前に必ず指導教員に連絡を取り、承諾を得てください。
そのうえで、指導教員から承諾を得たことがわかるメールを、出願書類と併せて提出してください。
- (3) 各専攻分野の指導教員並びに研究分野は下表のとおりです。本年度で退職予定の教員等は、指導できない場合があります。

国際保健学専攻

専攻分野	指導教員		研究分野	所属講座 (部門)
国際地域保健学	教授	古澤 拓郎	地域保健学、地域研究、熱帯医学、非感染性疾病	国際社会医学
国際保健政策学	教授	橋爪 真弘	環境疫学、気候変動、プラネタリーヘルス	国際社会医学
	准教授	Chris Fook Sheng Ng	Environmental health data science, statistical modeling of health risks associated with environmental exposures to climate and air quality factors	
	准教授	米岡 大輔	生物統計、機械学習、時空間モデル、メタアナリシス、感染症モデリング	
人類遺伝学	教授	藤本 明洋	人類遺伝学、集団遺伝学、がんゲノミクス、人類進化	国際生物医科学
発達医科学	教授	Meng Ling Moi	Tropical and emerging virus, immunology, epidemiology, field research, vaccine and therapeutics	国際生物医化学
人類生態学	教授	梅崎 昌裕	栄養適応と人類の進化における腸内細菌叢の役割。地域/国レベルにおける高齢化および人口減少による健康影響の低減。アジアオセアニアにおける人類集団の行動栄養適応。医療人類学	国際生物医科学
	准教授	小西 祥子	重金属、大気汚染、都市環境、環境の劣化によるヒト健康影響の評価。ポスト人口転換期における低出生力および妊孕力の生物学的・行動学的要因の解明	
生物医化学	教授	野崎 智義	生化学、分子生物学、分子寄生虫学:代謝制御機構、寄生現象、感染および適応進化の解析。薬剤開発	国際生物医科学
	准教授	津久井久美子	細胞生物学、病原学、細胞内脂質シグナル、細胞内物質輸送、食・運動の分子機構	
国際疫学				
国際環境保健学	准教授	Yoonhee Kim	Environmental epidemiology, health risk assessment of climate change and variability and/or air pollution	国際社会医学
医学教育国際協力学				

※この指導教員一覧については、今後、内容が変更されることがあります。更新後の情報については、本研究科Webサイト内の

ホーム>入進学希望の方へ>大学院医学系研究科 のページ

<http://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html>

に掲載するので、そちらを確認してください。